

## 8章 データを追加・更新しよう

---

# 8章 データを追加・更新しよう

SQLによるデータ操作のうち、追加と更新について学びます。

## 本章の目標

- SQLでテーブル内のデータを追加および更新する方法を知ること
- SQLでテーブルにコメントを追加する方法を知ること

# 8章 データ追加・更新の重要性

アプリやサービス開発では、データを追加したり更新したりする操作が必須です。

## 投稿アプリの例

- **新規投稿** → データの追加
- **投稿の編集** → データの更新

## 重要なポイント

- データの追加はINSERT文
- データの更新はUPDATE文
- どちらもアプリ開発で頻繁に使用する

**INSERT文は、テーブル内にデータを追加するSQL命令です。**

- INSERTは「挿入する」という意味
- テーブルに対して「○○というデータを追加してください」と命令
- アプリやサービスでは会員登録や新規投稿など、新しくデータを追加する際に使う

## 主な用途

- 会員登録（新規ユーザーデータの追加）
- 新規投稿（記事や投稿データの追加）
- 商品登録（商品データの追加）

# 8章 INSERT文の基本的な書き方

```
INSERT INTO テーブル名 (カラム名1, カラム名2, カラム名3)  
VALUES (値1, 値2, 値3);
```

## ポイント

- `INTO` (~の中に) のあとに追加先のテーブル名と追加対象のカラム名
- `VALUES` (値) のあとに追加する値を記述
- **追加対象のカラム名と追加する値は順番どおりに書く**
- 例：カラム名を `(id, name, age)` にしたら、値も同じ順番で `(1, '侍太郎', 36)`

# 8章 UPDATE文とは

**UPDATE文は、テーブル内のデータを更新するSQL命令です。**

- UPDATEは「更新する」という意味
- テーブルに対して「○○というデータを更新してください」と命令
- アプリやサービスではユーザーの住所変更や投稿内容の編集など、データを更新する際に使う

## 主な用途

- ユーザー情報の変更（住所、メールアドレスなど）
- 投稿内容の編集
- 商品情報の更新（価格、在庫数など）

# 8章 UPDATE文の基本的な書き方

**UPDATE** テーブル名

**SET** カラム名1 = 値1, カラム名2 = 値2

**WHERE** 条件式;

## ポイント

- **UPDATE** のあとにテーブル名
- **SET** (セットする) のあとに更新するカラム名とその値
- **WHERE** (どこに) のあとに「どのデータを更新するか」を判定する条件式
- **WHERE句を忘れると、テーブル内のすべてのデータが更新されてしまう**

## | データの追加

```
INSERT INTO テーブル名 (カラム名1, カラム名2, カラム名3)  
VALUES (値1, 値2, 値3);
```

## | データの更新

```
UPDATE テーブル名  
SET カラム名1 = 値1, カラム名2 = 値2  
WHERE 条件式;
```